

消費者庁入札等監視委員会 第9回会議 議事概要

開催日及び場所	平成30年6月29日(金) 共用1211会議室
委員	井手 秀樹 (慶應義塾大学名誉教授) 河村 小百合 (株式会社日本総合研究所調査部上席主任研究員) 竹内 啓博 (公認会計士)
議事	○住宅用太陽光発電システムに係る測定作業 ○平成29年度子どもの事故防止調査・研究業務 ○高校生向け消費者教育教材「社会への扉」アンケート調査結果に関するデータ入力、集計業務 ○リモートアクセス・ツールの導入に向けた設計・構築、運用保守業務 ○リモートアクセス・ツールの購入 ○アクロバットスタンダードアップグレードライセンス購入 ○個別システムサーバーのOSバージョンアップに伴う運用管理環境の導入業務 ○その他

○案件詳細	
【随意契約】 公募	契約件名：住宅用太陽光発電システムに係る測定作業 契約相手：シャープ株式会社 契約金額：1,954,800円 契約日：平成29年10月27日 担当課：消費者安全課事故調査室 説明内容：公募をした上で、製品保証を維持したうえで適切に測定作業のできる者と随意契約を行ったもの。その後、変更契約を行っている。 変更契約金額：1,792,800円 契約変更日：平成29年11月22日
【競争入札】 最低価格落札方式	契約件名：平成29年度子どもの事故防止調査・研究業務 契約相手：株式会社サーベイリサーチセンター 契約金額：7,495,200円 契約日：平成29年12月15日 担当課：消費者安全課 説明内容：一般競争入札を実施したが、1者応札となったもの。
【競争入札】 最低価格落札方式	契約件名：高校生向け消費者教育教材「社会への扉」アンケート調査結果に関するデータ入力、集計業務 契約相手：株式会社教育ネット 契約金額：177,120円

	<p>契約日：平成29年12月5日  担当課：消費者教育・地方協力課  説明内容：一般競争入札を実施し、複数者の応札があったものであり、低価格入札となったもの。</p>
【随意契約】 公募	<p>契約件名：リモートアクセス・ツールの導入に向けた設計・構築、運用保守業務  契約相手：伊藤忠テクノソリューションズ株式会社  契約金額：12,836,880円  契約日：平成29年12月11日  担当課：総務課情報システム係  説明内容：公募をした上で、消費者庁LANシステムを管理している者と随意契約を行ったもの。</p>
【競争入札】 最低価格落札方式	<p>契約件名：リモートアクセス・ツールの購入  契約相手：伊藤忠テクノソリューションズ株式会社  契約金額：7,143,623円  契約日：平成30年1月15日  担当課：総務課情報システム係  説明内容：一般競争入札を実施したが、1者応札となったもの。</p>
【競争入札】 最低価格落札方式	<p>契約件名：アクロバットスタンダードアップグレードライセンス購入  契約相手：伊藤忠テクノソリューションズ株式会社  契約金額：8,380,800円  契約日：平成30年3月20日  担当課：総務課情報システム係  説明内容：一般競争入札を実施したが、1者応札となったもの。</p>
【随意契約】 公募	<p>契約件名：個別システムサーバーのOSバージョンアップに伴う運用管理環境の導入業務  契約相手：伊藤忠テクノソリューションズ株式会社  契約金額：32,138,748円  契約日：平成29年11月21日  担当課：総務課情報システム係  説明内容：公募をした上で、消費者庁LANシステムを管理している者と随意契約を行ったもの。</p>
委員からの意見・質問 それに対する回答等	別紙のとおり

別紙

意見・質問	回答
1. 住宅用太陽光発電システムに係る測定作業	
一般競争入札で契約している同じような件名のものがあるが、どう違うのか。	作業内容が異なる。 こちらは測定及び点検を目的としたものだが、入札案件は測定の結果から調査を行うことを目的とするものである。
測定箇所が減ったことによる契約変更とのことだが減額されたのか。	減額している。
2. 平成29年度子どもの事故防止調査・研究業務	
毎年調査しているものなのか。	今年度が初めてだが、今後の調査についても検討しているところである。
参考見積を出した業者が参加しなかったのは何故か。	調査フィールドが徳島県内であるので、四国や関西圏の業者を中心に見積もりをお願いしたところだが、現地までの距離やスケジュール等の関係で入札に参加していただくことが難しかった。
個人情報保護対策のチェックリストがついているが、仕事の内容によって扱いが異なるのか。	この調査では、住民基本台帳から一部の情報を入手するため、最初から詳細なチェックリストをつけている。
3. 高校生向け消費者教育教材「社会への扉」アンケート調査結果に関するデータ入力、集計業務	
東京と地方では見積額が異なるものなのか。	入札には業者は東京の業者も地方の業者も参加しており影響はない。
予定価格と契約金額が大幅に異なる理由は。	データクリーニングのレベルやグラフ作成などのウエイトの問題だと思われる。
低価格入札となったが、成果物についてはどうだったか。	応札業者とやり取りをして修正したこともあったが、特に問題はなかった。
4. リモートアクセス・ツールの導入に向けた設計・構築、運用保守業務	
5. リモートアクセス・ツールの購入 ※2つ同時に審議	
設計・構築、運用保守業務は、随意契約ということで、見積価格を認めざるを得ないと思うが、どう考えているか。	過去のものとは比べはするが、やはり人件費等で出てくるので、なかなか難しいところではある。政府CIO 補佐官(消費者庁担当)(内閣情報通信政策監(政府CIO)及び各府省情報化統括責任者等に対し、専門的・技術的見地からの支援等を行う専門家)にも、見積

	額の妥当性について確認いただくなどの措置を取っている。
設計・構築、運用保守にアプリの購入を含めて一つの契約としてはどうか。	アプリは広く購入することが可能なもの。設計に購入を含めると、価格の競争性が働かないと思われたため、別々に行った。
6. アクロバットスタンダードアップグレードライセンス購入	
購入方法は他にもあるのか。	いくつかあるが、一般競争入札（最低価格落札方式）を利用するのが一番安価で購入できる。
4、5も含め、結果として一社に集中してしまっている。	最初の購入は別業者であった。 しかし、一社に集中してしまっていることは事実なので、以後対策を考えたい。
7. 個別システムサーバーのOSバージョンアップに伴う運用管理環境の導入業務	
随意契約にした理由は。	セキュリティ強化のためWAF（不正アクセス検知、遮断システム）を入れるなど、LANの中で作業する必要があるため、現行のLANの保守業者との随意契約となった。